

◆国道349号の役割

県南地域は首都圏に近い優位性から、近年、多くの企業が進出し製造工場を設立しており、これに伴い、原材料や製品などの貨物を輸送する大型車両の通行が増加しています。

貨物の輸送ルートとしては、常陸那珂港等から国道349号を利用するケースが増えてきており、矢祭町大字下関地内での通行台数は平成22年から平成27年の五年間で小型車が5%の増加に対し、大型車は13%も増加していきます。

国道349号は、企業の円滑な生産活動を支える上で、重要な路線となってきました。



国道349号下関工区

【福島県東白川郡矢祭町大字下関地内】

◆国道349号下関地域のいま

国道349号下関地内は国道沿いに住家が隣接し集落を形成しており、道幅は普通車がすれ違える程度しかありません。ここに大型車両の通行が増加してきたため、車両のすれ違いに危険を伴うとともに、歩道が無い歩行者の安全が確保されていません。

このため、2020年代初頭の供用開始を目指し、歩道を設けて十分な道幅を確保した新しい道路の設備を進めています。



道幅が狭く歩行空間が不十分



道幅が狭く大型車のすれ違いが困難



下関2工区



お問い合わせ先

福島県県南建設事務所 事業部 道路課
〒961-0971 白河市昭和町269番地
(電話) 0248-23-1673
(FAX) 0248-23-1504
(URL) <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41330a/>

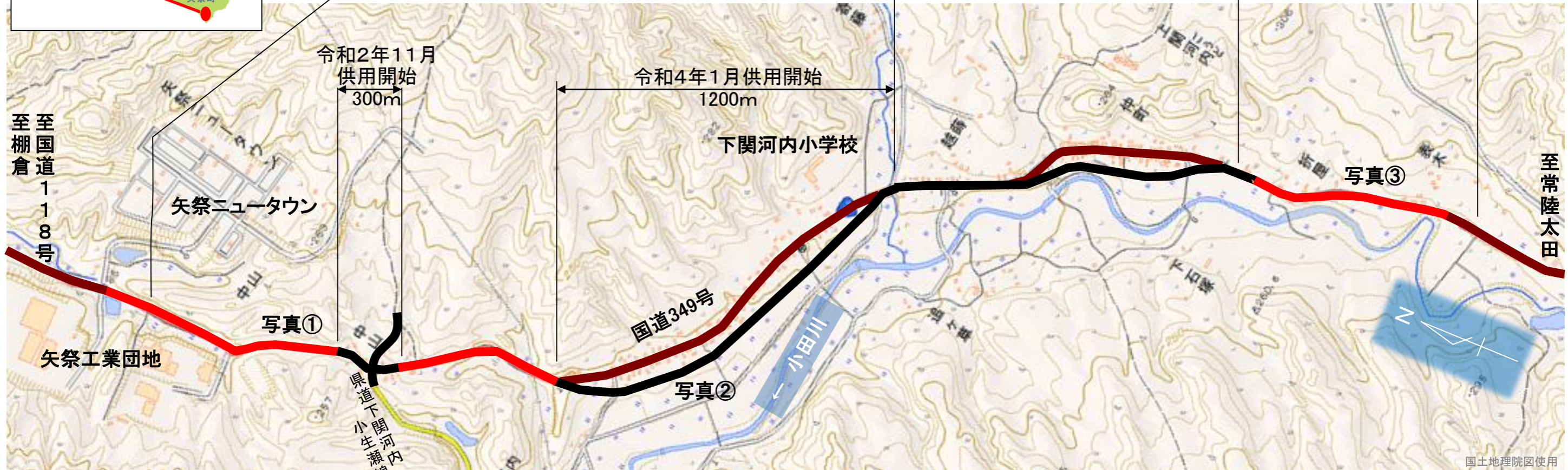
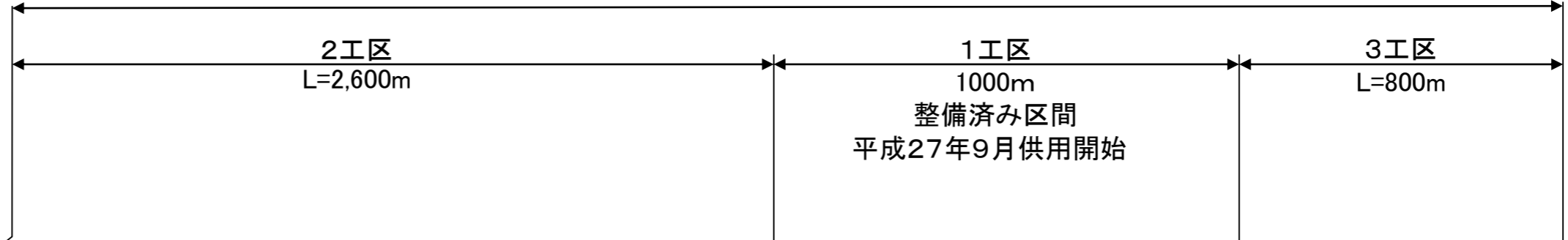


福島県県南建設事務所

県南地域位置図



国道349号下関工区道路整備事業 L=4,400m W=6.5(11.0)m



令和2年11月
供用開始
300m

令和4年1月供用開始
1200m

至
国道
118号
至
棚倉

至
常陸
太田

矢祭ニュータウン

下関河内小学校

写真①

写真②

写真③

矢祭工業団地

県道下関河内線
小生瀬線

国道349号

小田川

国土地理院図使用



① 2工区の様子



② 2工区整備完了状況



③ 3工区の工事状況